

# ポストコロナ社会とGIS

ポストコロナ時代に向けて人と物の流れ、社会と個人の働き、都市と地方の関係、リアルとバーチャルの役割など、社会のあらゆることが地盤変動を迎えています。その動きを速やかに察知し、戦略的にニューノーマルへの移行が求められます。本シンポジウムは地理空間の視点からこの未曾有の危機をどう捉えるか、学会、業界、社会のアクターがどう対応するかを議論し、地理空間情報の役割と持続可能な社会づくりへの貢献を展望します。

日時： 2020年12月4日（金）15:00-17:00

会場： ESRIジャパン株式会社会議室

形式： ライブ+オンライン+ネット配信

登録： [https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_BjvrBKS3SScNaR-Hi62gWA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_BjvrBKS3SScNaR-Hi62gWA)

\*ZOOM 会議室は先着100名までご参加いただけます。YouTubeからもご参加いただけます。

登録用QRコード



司会 巖網林 地理情報システム学会副会長 慶應義塾大学 教授

開会挨拶 大佛俊泰 地理情報システム学会長 東京工業大学 教授

## キーノートスピーチ

「ポストコロナの世界と日本 ―レジリエントで持続可能な社会に向けて」  
木根原良樹 株式会社三菱総合研究所 経済・研究センター 参与

1989年入社。防災・減災、事業継続、リスクマネジメント等の業務に従事した後、現在は社会経済の中長期分析を担当。「モビリティ進化がもたらす社会・産業へのインパクト」（2018年）、「大ミスマッチ時代を乗り越える人材戦略」（2018年）、「未来社会構想2050」（2019年）、「ポストコロナの世界と日本」（2020年）などを公表。



## パネルディスカッション

- ・柴崎亮介 東京大学空間情報科学センター 教授
- ・土田雅代 ESRIジャパン株式会社
- ・青木和人 NPOあおき地理情報システム研究所代表
- ・小泉和久 浦安市
- ・畑山満則 京都大学防災研究所 教授 副所長
- ・石橋 生 桐蔭学園高等学校 教諭

閉会挨拶 山本佳世子 地理情報システム学会理事/事務局長 電気通信大学 教授

主催 地理情報システム学会  
共催 G空間EXPO運営協議会